

全教

2011年10月20日

NO. 470

# とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190

FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.z

aq.ne.jp

## 「教育基本条例案」撤回！ 市民向け駅頭宣伝

現在、9月府議会が開催されています。「教育基本条例案」に対して、知事が任命した教育委員からも強い反対の意見が出ていますが、この条例案のひどさをとにかく府民・市民に知ってもらおうと全教豊中では駅頭宣伝を行っています。

9月16日 曾根

9月23日 庄内

9月30日 岡町

10月6日 豊中

10月14日 蛍池

の各駅頭で宣伝・署名活動を行ってきました。宣伝には、毎回9〜15人が参加。マスコミで取り上げられるようになって、回を重ねるご

とにビラ受け取りの反応もよくなってきました。藤木書記次長の条例案批判の可愛いイラストが入ったティッシュも一緒に配ると受け取りはさらによくなっています。

10月6日の豊中駅での宣伝では、中年の女性「教育基本条例反対です。署名を集めたので用紙をください。」という場面もありました。

今後も毎週 駅頭で宣伝

10月21日（金） 6時

豊中駅

10月27日（木） 6時

服部駅

11月3日（木） 11時

千里中央駅



岡町駅での宣伝

ビラの受け取りはまずまず

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な !

# 大阪から「維新」の黒い雲をふきとばそう

## 明るい希望のもてる大阪へ！

11月27日、大阪府知事選挙と大阪市長選挙の同時投票が濃厚になってきました。

「維新の会」からは、橋

下知事が市長候補に、知事選には維新幹事長の松井氏が立候補を予定。一方、

「明るい民主府政をつくる会」からは、前回に引き続き弁護士梅田章二さんが立候補を表明しています。

不安定雇用がまかり通り、格差が広がり、貧困の拡大など府民のくらしや生活が大変な状況が続いています。こうしたくらしの状況があるにもかかわらず、政府も府の行政も必要な手立てをとらずに、「公務員が悪い。公務員は安定して安住している」と公務員を何とかす

れば、国民・府民のくらしが何とかなるかのような幻想をふりまいています。

### 関西財界の要望に沿う

#### 行政づくりへ

橋下「維新の会」がすすめる方向は、府民一人ひとりの生活やくらしを大切するものではありません。府民の期待はまだそれなりに高いですが、この約4年間に「くらしがよくなった」と

と答える府民は皆無です。それは、橋下知事がそのような施策をとらないからです。これからも、「世界で活躍できる人材」などといった関西の経済界・財界の要望にそった行政を続け、予算の使い方も、その方向で進めていこうとしているの

です。

教育でも、できる子を早く見つけ出して、重点的に力を入れる予算。すべての学校に同じように予算配分をしない。「福祉・教育は基礎自治体の仕事」などと、予算を削る。能勢の府民牧場や国際児童文学館など、お金にならない施設は廃止や縮小。

その一方でやろうとしているのは、関西財界の成長戦略のための関空活性化、湾岸地域開発。そのためのリニア導入やさらなる高速道路整備などです。

### くらしにくさの根源に

#### 目を向けた動きが

アメリカで若者たちが「ウォール街を占拠せよ！」

と始まった運動は「1%の金持ちの政治から99%の人へ」の一致点で、世界中へと広がりつつあります。世界で、貧困や格差の原因に目を向けた動きが広がっています。

### 明るい大阪へ

40年前、スモッグで汚れていた大阪の空。「公害知事さん さようなら 憲法知事さん こんにちは」と大阪府民は黒田了一さん（明るい会候補）という革新知事を選びました。

今度は、「維新」という黒い雲をふきとばす大阪府知事選挙にしたいものです。

豊中教職員組合執行委員会は、明るい会の梅田章二さんを推薦しています

# 休憩時間を真に取れる職場を！

## 長時間過密労働の常態化

学校現場は、長時間過密労働が慢性化し、教職員の健康破壊・病気休職・早期退職が増加の一途をたどっています。教職員定数の絶対的な不足、多すぎる授業持ち時間数、部活動の負担などによって、目の前の仕事に、到底時間内では終わらない実態です。

とで、今の教育が成り立っているといっても過言ではありません。

### 休憩時間を

#### 保障させるには

連続して長時間働き続けることなく、教育現場にもきちんと休憩時間を保障させるためには、次のような取り組みが必要なのではないでしょうか。

①教職員の勤務実態が、恒常的に時間外に及んでい実態を保護者・市民に広く知らせる。

②国の責任で、30人以下学級の実現や教職員定数増をはかる。

③超過勤務の歯止めとしての機能をうしなっている給特法の見直し、時間外勤務手当を要求する。

④サービス残業や過労死などの解決のため官民一体の「働くルール」の確立をめざす運動をすすめる。

#### 途中で休憩時間をとることが大切

私たちは、7時間45分の労働の間に休憩時間をとることが、健康に働きつづけるための、大事なポイントだと考えています。実質的な休憩が取れるように条件整備を求め、そのことの理解を市民に訴えていきます。健康に働き続けられる学校現場であってこそ、行き届いた教育ができることを市民の共通理解にしていきましょう。

#### 市教委は休憩時間確保に責任を持つべき

この間の休憩時間取得のための試行では、ほとんど取れなかったというのが実態です。

子どもたちがいる状態での休憩時間取得は、人員確保なくしてありえません。

また、先日保護者配布用として市教委からおりてきた休憩時間に関する手紙は、到底保護者の理解を得られない内容であることや、事前に組合に連絡もないことなど、こんなことで休憩時間が確保できるとは思えません。

各学校の状況を踏まえた休憩時間取得に向け、市教委は責任を持って取り組むべきです。



## 第20回

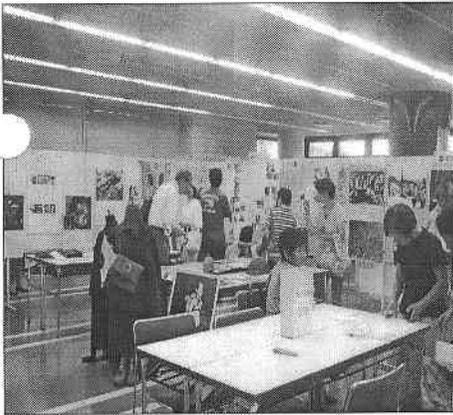
# 平和のための豊中戦争展

9月10日11日に中央公民館で、第20回「平和のための豊中戦争展」が開催されました。

展示は、豊中空襲・ヒロシマ・ナガサキ・沖縄戦などの戦争の記録や遺品のほか、「君が代強制条例」がなぜ問題なのかを戦前の教科書や教育から探る展示、原発が核開発からもたらされてきたものである展示がされていました。

10日午後の証言者コーナーでは、「空襲体験と訴訟」「日本と中国の平和のために」「軍事教練と出征体験」のテーマで3人の方のお話をお聞きしました。「日本と中国の平和

のために」では、松岡環さんが、南京大虐殺に関わった元日本兵や中国の生存者から証言を聞き取ってドキュメンタリー映画を作ったいきさつを、映像を交えながら話されました。50人規模の証言者コーナーの会場は、どの証言のときも椅子が足り



ないほどの参加者でした。また、こども連れのお父さん、お母さんの姿も目立ちました。

「教育基本条例案」は「ゆとり教育」からの流れ

斉藤貴男さんのお話から  
「教育のつどい大阪」

2011

10月8日、「教育のつどい大阪2011」全体会が松原市文化会館で開催されました。

青年教職員による「よさこいソーラン」や作業所の仲間たちの合唱などの文化行事のあと、斉藤貴男さんの記念講演がありました。

2002年の指導要領の改訂の際、教育課程審議会会長の三浦主門会長にインタビュー。三浦会長が、

「平均学力は低いほうがいい。勉強できない子に手間ひまかけ過ぎ。できない者はできないままで。ただ実直な精神を養えばよい。」と「ゆとり教育」の目的を語り、「エリート教育にもつと金をかけるべき。」「本当のことを言うと、国民が怒る。」から「ゆとり教育」と言ったことを紹介。

戦後民主教育が、経済界から「子どもものときからのエリート」を欲しがる要請によつて変質させられてきたことをわかりやすく話されました。

格差を広げることによる国民の不満を抑えるために、「日の丸・君が代」などの思想統制を同時に進めてきたこと、その裏にアメリカの世界戦略があることもよくわかりました。